

# JRFUTY No.13

Japan Freight Railway Union Tohoku Young

JUNE 14, 2025  
Publisher T. Okubo

## 25年度夏季手当 **1.73ヵ月**で妥結！

第3回交渉で示された「2022年度夏季手当（1.72ヵ月）と同等程度」という、組合の要求から大きくかけ離れた水準から少しでも押し上げるべく現場よりFAX・怒布などの行動を行ってきましたが、12日に以下の6点の付帯事項をもってこれ以上の前進はないとして妥結しました。

- ① 経営陣は、トップセールスをはじめとした営業施策を確実に進め、**黒字達成の際には社員に還元すること。**
- ② 職場の老朽化設備の更新と改善、機関車の更新と修繕部品の確保を進めていくこと。
- ③ 「**JR 貨物で働いていることを自慢できるような労働環境の整備**」と「**賃金・労働条件の向上**」をはかり、人材確保と離職防止対策を講じること。
- ④ 異常時における輸送や乗務員の手配、駅作業等の操配を迅速に対応するよう社内で徹底すること。
- ⑤ 労働環境を改善し、熱中症対策など、**社員の命を守る安全対策をはかること。**
- ⑥ 責任追及ではなく真の原因究明と再発防止に向けて取り組み、生き生きと働き甲斐のある職場風土づくりを実施すること。

## 各地で常駐実施



回答指定日となった12日には仙台分青・仙台機関区分青の炊き出しをはじめとして各地域で常駐が行われ、交渉状況の共有とともに青年部員同士の結束の強化をはかりました。



納得のできる回答ではなかったと思いますが、ここまで回答を押し上げることができたのは各職場から皆さんが一致団結して抗議活動を行ってきた結果です。

改めてこの間の取り組みに対するご協力に感謝いたします。